

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
EnglishⅢ-B～Dクラス				長谷川 順子	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	1 単位	2 年次	講義	無	無
授業の概要 (Course Description)					
<p>世界を視野に活躍するGlocalistに必要な英語運用力を養う。海外の英語ニュースで新しいビジネスの情報を把握するため、ニュース報道を教材とし音声、映像も用いて学ぶ。時事英語の聴き取り・内容理解のトレーニングを行う。さらに毎回Active Readingの時間を設ける。興味ある本や英文のニュースを選択し、それぞれのペースで読み進めていく。英語コミュニケーション能力を高めるために、自分の考えをプレゼンテーションし、相互にレベルアップを図る。また、音楽や映画などに触れ、外国語を学習する楽しさも共有していきたい。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>文法の基礎をしっかりと確認した上で、英語の文章を出来る限り多くインプットし、英語運用力を向上させる。実際の英文ニュースを読みこなす力を自分のものにする。 「多く聞く」、「多く読む」ことにより、キャリアを通して英語を学び、役立てていくことができる習慣を身につける。自分自身で継続的に学び続けることができる方法を、各自が確立していく。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	Class orientation				
第 2 回	Unit 1 /Active Reading の概要				
第 3 回	Unit 1				
第 4 回	Unit 2				
第 5 回	Unit 3				
第 6 回	Unit 3 / Review				
第 7 回	Examination / Unit 4				
第 8 回	Unit 4				
第 9 回	Unit 5				
第 10 回	Unit 6				
第 11 回	Unit 7				
第 12 回	Unit 7 / Review				
第 13 回	Presentation				
第 14 回	Presentation				
第 15 回	Semester Review				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>プレゼンテーションの参加は必須。半期を通じ準備を行う。積極的に授業参加できるように、提出課題に取り組み、授業内容の予習復習を行うことが求められる。読書は、日本語、外国語を問わず、みなさんのキャリア形成に大きな影響を与える。英語の書籍に関しては、授業外の時間も活用して、楽しく読める本をたくさん読むこと。さらに英字新聞やインターネットで英文ニュースを確認する習慣を身につける。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
Quizzes, Assignments (30%) Presentations (20%) Examination (50%)	小テスト、中間、期末テスト、課題への取り組み、授業での発表に基づき評価する。 秀：「授業の到達目標」を非常に高いレベルで満たしている。 優：「授業の到達目標」を高いレベルで満たしている。 良：「授業の到達目標」を十分に満たしている。 可：「授業の到達目標」を満たしている。 不可：「授業の到達目標」を満たしていない。
テキスト (Textbook)	<p>CNN 10 Vol. 1 -Student 【書名】 News- 【著者】 関戸冬彦 /小暮正人 /Jake Arnold /Ken Ikeda /長和重</p> <p>朝日出版社 【出版社】 ISBN: 978-4-255-15623-1 【出版年】 2018</p> <p>【書名】 American Pie 【著者】 Kay Hetherly 【出版社】 NHK出版 【出版年】 2000 ISBN: 978-4140350577</p>
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	参考資料を講義中に配布する。 英語学習に役に立つサイトを授業で紹介する。 多読用図書や紹介する英語のサイトを最大限に活用しよう。 多読用図書の例： Penguin Readers, Oxford Bookworms Library, Macmillan Readers, Oxford Reading Tree など。
備考	
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	授業日に講師室まで。